

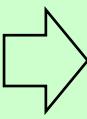
地域農業の継続と次世代への継承を目指す ～農事組合法人おきす～

経営体の概要

当 初：平成15年7月

基幹作物：水稻、二条大麦、ひまわり

経営面積：81.4ha



現 在：令和3年度

基幹作物：水稻、二条大麦、ひまわり、

ハトムギ、WCS稻 等

経営面積：73.0ha

取組の経緯と経営転換のポイント等

平成15年7月、3つの営農組合が今後の営農のあり方と農業機械の共同利用を目的に「沖州下営農組合協議会」を設立、さらに大型農業機械化体系による農業経営と担い手の育成に向けて平成16年9月に3つの営農組合を合併して

「おきす営農組合」が設立した。平成27年1月に法人化し、同法人のビジョンである「次世代につなぐ農業経営」「参加型農業」を具現化しながら次世代につなぐ農業経営に取り組んでいる。

本事業により、安定的な用水供給が可能になったため、農地中間管理機構を活用しながら経営規模の拡大を図っている。

営農改善のポイント

①作物の変化

水稻を中心に二条大麦とひまわりの3品目から、既存の農業機械のフル活用、安定した収量確保のための輪作体系、リスク分散による収益の安定性等を考慮し、ハトムギ、WCS稻、黒大豆、キャベツ等の作物を導入している。



ハトムギの加工品

②栽培技術の確立・向上

当初の水稻→二条大麦→ハトムギの体系では水稻後の二条大麦の収量不安定とハトムギ連作により収量が低下するため、令和元年度より「ハトムギ→二条大麦→WCS稻→水稻(又は麦)」の体系を取り入れ、2体系によるローテーションブロックにより収量の安定化を図っている。また、水稻の直播栽培、WCS稻の耕転同時無代かき直播など省力化とコスト削減に取り組んでいる。



ひまわり通信

③その他

組合広報誌「ひまわり通信」の発行やホームページの更新、SNS等を活用し、法人の取組を組合員以外も対象に幅広く紹介している。

キャベツ狩りやスイートコーン狩り、ひまわり開花時などの収穫体験やイベントを通して、地域の消費者、学生、企業等とともに地域農業の継続発展と次世代への継承を目指している。

「農事組合法人おきすホームページ：<https://www.okisu.jp/>」

事業概要

事 業 種：国営農業用水再編対策事業

関係市町：島根県出雲市

受益面積：3,728ha

事業期間：平成17～平成28年度

事業目的：用水改良

主要工事：用水路の新設・改修49.7km

揚水機場等の改修3ヶ所、汐止堰新設1ヶ所

水管理システムの整備一式 他

位置図（島根県）



<問い合わせ先>

中国四国農政局

農村振興部農地整備課

電話：086-224-4511

(内線：2562)

(令和3年度調査時点)